

## 広告特集

企画・制作  
朝日新聞社メディアビジネス局

狂言師

野村 裕基  
さん

子どもの頃も、大学生の今も  
アイスクリームは楽しい思い出

Happy  
Häagen  
Project  
—いっしょに食べれば、もっと幸せ。—

一緒においしいものを食べる  
普通の日常が大事なんですね

狂言師

野村 萬斎  
さん

8月10日は、ハーゲンダッツの日。

# 家族でデザートを楽しむ、しあわせな時間



学業と狂言を両立し  
果てのない課題に挑む

萬斎 大学生になつての一人暮らしはどう?  
裕基 そう言つてお父さんがよく食事に連れていくてくれるから(笑)足りています。

萬斎 僕は芸大だったから、自分の職業に沿つた学問を修めていたけれど、裕基は法学部で全く違う分野。単位は早め早めにとつたほうがいいとアドバイスしたよね。

裕基 試験の日を避けて公演を入れたり、稽古のスケジュールも講義が終わつてからできるように組んだり、配慮してもらっています。

萬斎 だから夜の9時から稽古になることもあって、かなりハードだと思う。裕基 若いで、今のとこ大丈夫ですか?

萬斎 僕は君くらいの年齢まで、反発というか、狂言以外のことをしたいと思うのが強かつたけれど、裕基はそうでもないのかな。

裕基 小学校の頃は、クラシック音楽の作曲家が指揮者になりたい!と言つていたこともあつたけれど、稽古をしていくうちに、自然に狂言をやる気持ち。お父さんと同じ17歳の時に「三番叟」を初めて演じたことは自分的一大二三のポイントにはなつています。

萬斎 この9月にはパリで、父野村万作さんと一緒に、裕基の三世代で「三番叟」をやることが決まつていて、このターニングポイントにはなつています。

裕基 最初に三番叟を演じたときは、自分で離子方の躍動感をつかんで踏めるようになり、次の課題として一つ上のレベルを教えてもらつたんですよ。2度目の時は、そこを意識しながら、全体の出来としてはノリに物足りない部分が出てきてしまったなという反省点があります。

幼少期から厳しい稽古を積むことで知られる、狂言を継ぐ野村萬斎さんと野村裕基さん親子は、稽古場と舞台では師弟関係。家に帰れば普通の親子の関係に切り替えるそうですが、裕基さんの敬語は続きます。海外公演を控え、多忙な日々を送る中、大好きなハーゲンダッツアイスクリームとともに、オフのひとときを過ごしました。

のむら・まんさい／祖父故六世野村萬斎及び父野村作能公演に参加する万現代劇や映画・テレビドラマ活躍狂言の認知度向上に大きく貢献している2000年に開催される東京オリンピックバージンピックスの開閉式委員会長4式典総合統括イフエクゼクティブクリエイティブディレクターに就任世田谷アーツシアター芸術監督

萬斎 僕らの世界では、師匠にほめられていうことはなく、出来て当たり前。それ以上の達成感が持てるかどうかは、自分との戦いになつていく。でもお客様の反応も「一つの評価として手応えになるんじゃないかな。

裕基 僕は、まわりの評価はあまり考えないです。たとえいい評価をくられたとしても、自分のなかに不満があればそこが気になつしまうので。

萬斎 そこは人の評価が気になる僕とは違うところだね。裕基は3歳の時から舞台に立つて、今が大人として再出発が終つて、今が大人として再出発する時。声変わり後の発声も新たに鍛え直さないといけない、大きくなつた体の使い方もまだこれから。未梢神経まで動きの回路が通じるように、今のうちにきちんとやつほしいことがたくさんある。

裕基 一つクリアしたかと思うと次の課題があつて、100点ということはおそらくないと思うんです。50点を60点に、三番叟のレベルを上げていくことが今の僕には大事な目標です。

萬斎 いやうれしかつた。そういうところ君は優しいねでも、三人きょうだいのうち二人が大学生になると、家族全員集まることが少なくなつたね。

裕基 僕が小学生のときは家族で食事にいくと、帰りによくハーゲンダッツを買ってもらつたから。子どもたちを早く寝かせるためにもね。

萬斎 あれはお母さんがお店でデザートをゆつくり取るよ、家で食べようという考え方だつたから。子どもたちを早く寝かせるためにもね。

裕基 結局その日は寝ちゃつて、次の日のおやつになつて、家の冷凍庫によく入つてしまつたね。

萬斎 君たちはグリーンティーが好きだよね。僕もだけど。

裕基 カップのふたを開けると、アイスクリームがクレーターみたいになつて、ビールグラスと変なトントン音をつくつて、(笑)。

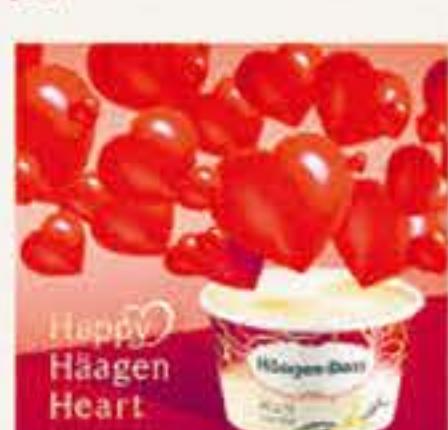
萬斎 高校生の時つたね、なんとかのハゲ頭とか書いてある面白Tシャツ、現代劇の稽古場に着て行つたらウケたよ。

裕基 「そういえば父の日か」と思つて、ビールグラスと変なトントン音をつくつて、(笑)。

萬斎 小学校の頃は、クラシック音楽の作曲家が指揮者になりたい!と言つていたこともあつたけれど、稽古をしていくうちに、自然に狂言をやる気持ちは、お父さんと同じ17歳の時に「三番叟」を初めて演じたことは自分的一大二三のポイントにはなつています。

萬斎 先輩のおこりで、大学ではけこうやつかりしているねえ。また家でもみんな食べようよ。

ハートの日(8/10)はハーゲンダッツの日  
大切な人とハーゲンハートを探そう!



ハーゲンダッツのふたを開けた時に現れるハート型のクレーテー「ハーゲンハート」を探して楽しむサンプリングイベント「ハッピーハーゲンハート」を、東京ほか北海道・宮城・愛知・大阪・広島・福岡の全国7カ所にて開催します。合計2万人にミニカップ「バニラ」もしくはハート限定パッケージの「リッチミルク」をプレゼント。詳しく述べウェブサイトで。

<https://www.haagen-dazs.co.jp/happyhaagen/heart/>

## 幸せだけで、できている。

まじりけのない美味しさを、大切な人と。



8月10日は、ハーゲンダッツの日。

Häagen-Dazs